

研究主題 生徒の学習意欲を高めるための授業づくり

～ 「できた」「わかった」が実感できる協同学習を目指して ～

1 本年度の重点目標

- (1) 自らの特性を理解するとともに、適性に応じた進路計画を立て、粘り強く努力する生徒を育成する。
- (2) 基礎的・基本的学力の定着を図るとともに、思考力、判断力、表現力を高める指導の工夫に努める。
→「学び合う授業」の創造に努め、学ぶ喜びを体得させる。
- (3) 望ましい生活習慣を確立するとともに、規範意識を高め社会性を育成する。
- (4) 体験的学習や部活動を推進し、自主性、社会性、気力・体力の増進を図る。
- (5) 健康・安全の意識を高めるとともに、基礎体力の向上を図る。
- (6) 全校で取り組む人権・同和教育、及び特別支援教育を推進する。
→学級、学年、全校での「なかまづくり」（ピア・サポート等）に努める。

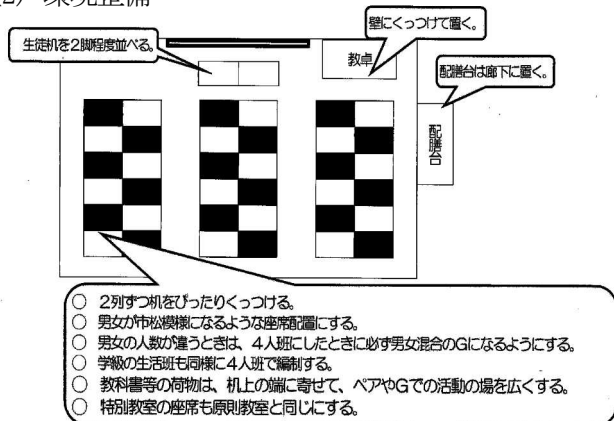
2 実践内容

(1) 校内研修

- 現職教育（月1回）
- 現職教育推進委員会（月1回）
- 現教だより（月1回）
- 校内公開研究日（年4回）
- 授業研究週間（学期1回）



(2) 環境整備



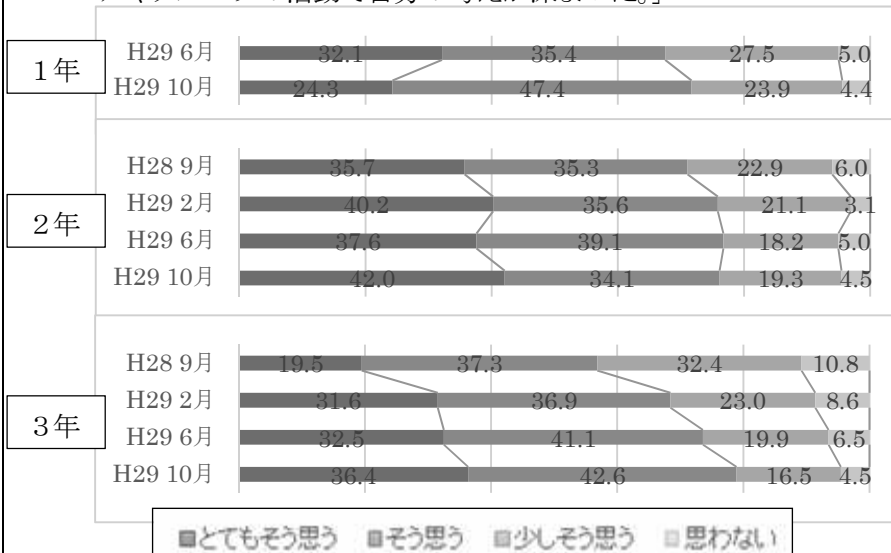
(3) 授業改善・指導法の工夫

木太中 協同学習の約束

- 1 私語はしません。
友達の意見や先生の話をよく聴きましょう。
- 2 机をぴったりくっつけます。
ペアやグループで活動しやすい環境にしましょう。
- 3 友達が「教えて」と言ったら教えます。
自分から「教えて」と言うようにしましょう。
- 4 「教えて」と言われたら、最後まで教えます。
ゆっくりじっくり相手に寄り添いましょう。
- 5 分からないことをそのままにしません。
途中で投げ出さず、根気良く取り組みましょう。

3 成果

生徒対象の授業に関するアンケートより
「ペアやグループの活動で自分の考えが深まった。」



4 課題・今後の取組

生徒が授業の中で、「考えたい。」「もっとわかりたい。」と思えたり、グループで追究・探究してこそ解決につながったりするような難易度の高い課題を授業に取り入れていく必要がある。

聴いてくれるなかまがいてこそ、信頼し合って学習に取り組めるので、温かく支持的な風土の学級づくり、なかまづくりをさらに進めていく。